



日田の今が見える、日田のこれからが見えてくる

# 市議会だより



10月に開館した咸宜園教育研究センター

## もくじ

- 9月定例会で審議した議案とその結果  
…2ページ
- 各委員会の議案等の審査結果、請願の結果・意見書  
…11～13ページ
- 市政に反映、皆さんの声  
(一般質問) …3～10ページ
- 人事案件・公職選挙法に関するQ&A  
…14ページ

9月定例会で  
審議した議案とその結果

9月  
定例会

過疎地域自立促進計画を可決

平成二十二年第三回定例会は、八月三十一日から会期二十二日間で開かれました。この議会では、条例の一部改正、十億六千四百二十四万七千円を追加する平成二十二年一般会計補正予算など、十九件の議案について審議を行い、それぞれ左記の結果のとおり決定いたしました。

●会期  
8/31~9/21



日田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	(原案可決・全員)	平成二十二年日田市介護保険特別会計補正予算(第一号)	(原案可決・全員)
日田市国民健康保険条例の一部改正について	(原案可決・全員)	平成二十一年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	(継続審査)
日田市一般職員の給与に関する条例の一部改正について	(原案可決・全員)	平成二十一年度日田市水道事業会計決算の認定について	(継続審査)
工事請負契約の締結について	(原案可決・全員)	日田市議会決算審査特別委員会の設置について	(原案可決・全員)
損害賠償の額の決定について	(原案可決・全員)	日田市議会決算審査特別委員会の選任について	(原案可決・全員)
字の区域の変更について	(原案可決・全員)	日田市副市長の選任について	(原案同意・全員)
過疎地域自立促進計画の策定について	(原案可決・全員)	日田市教育委員会委員の任命について	(原案同意・全員)
平成二十二年日田市一般会計補正予算(第一号)	(原案可決・多数)	日田市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	(原案同意・全員)
平成二十二年日田市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)	(原案可決・全員)	人権擁護委員の推薦について	(原案同意・全員)
平成二十二年日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)	(原案可決・全員)		

## 一般質問

# 市政に反映 皆さんの声



平成二十二年第三回市議会定例会では、九月七日、八日、九日の三日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、十六人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

### 国保特別会計へ 財源補てんの基準を示せ

飯田 茂男

**質問** 国民健康保険税率は今後も上昇傾向にあり、税負担増に被保険者の不安がある。税の負担軽減を図る一般会計からの財源補てんの措置基準を示すべきだ。

**市長** これまで国保税の軽減財源として余剰金や準備基金からの繰入で比較的安定した運営を行ってきたが、本年度は財源に不足が生じ被保険者に迷惑を掛けた。一般会計からの繰入は、まず毎年度行ってきた税率改正を今後は三年間

を見通した複数年での税率改正に見直した上で、国保会計の広域化へ向けた国の動向及び他市の状況を十分注視しながら検討する。

**質問** 観光では、アジア系観光客が増加傾向にあり、小型店舗でも会話など接遇面での戸惑いや不安がある。受入態勢づくりはいかに。  
**部長** 観光協会が観光関係施設を対象に外国人客対応に向けた五回の研修を計画している。市としてもその研修の推移を見ながら、関係者への研修講座等を計画する。簡易な会話事例集や緊急対応手順書の配布や観光案内看板に外国語表記を行う等、接客現場を把握し状況に応じた態勢整備に取り組む。

**質問** 学力テストの結果、県内の小・中学生の低学力層の増加が明らかとなり、学力向上対策が課題になる中、市教委の姿勢はどうか。

**教育長** 小学校の学力調査の対象科目に社会、理科を追加。中学の数学、英語の教科学力向上の強化を検討する。教員の指導力などに対し、的確な指導・助言に当たる。  
**質問** 他に日田産木材需要拡大緊急対策事業の新たな展開を質した。

### 定移住促進施策 について

嶋崎 健二

**質問** 人口の定住を促進しようとする国の政策である定住自立圏構想についてはどう考えるか。

**部長** 人口定住のための必要な生活基盤の確保に向けて、昨年四月から創設された制度である。本市では、現在のところどのような取組が可能かどうか、情報収集を行っている段階である。

**質問** 集落支援員の配置については、人件費も含めて要する経費は国から支援を受けられるが、この制度の導入予定について伺う。

**部長** 本市では、現在、小規模集落対策として、行政職員が直接地域に入り込んで調査を行っており、今後の対策を検討する中で、必要に応じて措置を対応したい。  
**質問** 定住特区の指定などの取組について伺う。

**部長** 地域の実情を踏まえ、他都市の事例も参考にしながら定住につなげる必要な事業の検討を進めたい。

**質問** 若者出会い応援事業等、婚



活支援の取組について伺う。

**部長** 周辺地域活性化対策事業やまちづくり活動事業の補助制度などを活用し、いろいろな団体が主体となって取り組んでもらえるよう働き掛けていく。

**質問** 水郷日田の水を生かした企業誘致について伺う。

**部長** 水は本市の産業振興の生命線であり、食品関連企業の立地については、良質な水が不可欠。食品関連産業においては、設備投資に意欲的な企業が見受けられる。水郷日田のまちづくりに合った企業誘致に積極的に取り組んでいく。

**日田市全域での情報の共有化を！**

井上 明夫

**質問** 市の光ネットワークとKCVの両エリアの境目では周知不足により自分がどちらのエリアか混乱している市民がいるがどうか。

**部長** KCVエリアが確定する前に説明会をしたためにそうなったことに関してはお詫びしたい。

**質問** KCVエリアの市民の受けの不公平感の解消のために、この機会に期間限定で加入金や工事費



等に対する助成ができないか伺う。

**部長** 両局は独立採算制なので現在のところは考えていない。

**質問** 市全域で情報を共有するために、両局のローカル番組をお互いに放送することについて伺う。

**部長** 双方での放送の在り方について協議しているところである。

**質問** 市の独自放送では何を放送しているのか分からないが、番組の周知方法をどうするのか伺う。

**部長** 今検討しているのではありません。

**質問** 火事の情報市独自の放送

では流れないが対策はどうか。

**部長** 緊急の場合にテロップが流れるシステムを検討している。

**質問** 公共の木造建築物の材料は集成材ではなく、日田材の特徴である無垢材を使うことを定めた設計仕様書にできないか伺う。

**部長** 地場産業の育成の観点から、仕様書等に日田材の積極的な使用に努める旨の事項を特記したい。

**質問** 小学校外国語活動の導入に当たりどう準備しているのか伺う。

**教育長** 英語や外国語への興味関心を育む授業をするために、来年度の完全実施以降も更に研修を実施し、授業力を高めていきたい。

**月隈公園の管理用道路建設について**

古田 京太郎

**質問** 八月十二日開催の「月隈城跡発掘調査指導委員会」の目的、出された意見の要旨、意見の処理及び今後の方針について伺いたい。

**部長** 管理用道路の建設が月隈城跡などの文化財に与える影響や文化財としての価値について再検討を行うために開催した。意見の要

旨は、史跡咸宜園、豆田の町並み、



永山跡、永山城跡とつながる近世日田の歴史的な意義を認識し、価値観を共有した上で道路建設を検討すべきである。今後の方針は、貴重な文化遺産であることを再認識し、永山城跡の文化財史跡指定も視野に置き、保存、整備、活用に向け、総合的な基礎調査に着手したい。

**質問** 月隈公園に道路を造る必要性があるのかどうか市長の考えをお聞きしたい。

**市長** 今回の学識経験者の意見を受け止めれば、車を上げる道路は

無理ではないかと思う。国の補助金は、公園全体の整備に使いたい。

**質問** 児童虐待で緊急性の高い場合の対応について伺いたい。

**部長** 緊急性の高い通告があった場合、直ちに担当職員が現場に駆け付け、警察に連絡し、児童相談所の支援を要請する。児童の安全を第一に一時保護や病院の搬送を行うこととしている。

**質問** 他に、教育問題は、子どもと向き合う時間の確保、教員の授業力の向上及び教育委員会の支援について質問した。

### 放課後児童クラブについて

羽野 武男

**質問** 天瀬・大山など十小学校区では、放課後児童クラブは未設置だ。未設置校区に放課後児童クラブの設置を推進する上で、障害となる課題を伺う。

**部長** 下校時間に差が出るため、集団下校の安全性を損なうことや、保護者の迎えが必要となる場合に、その迎えが困難との意見があった。今後は市独自のガイドラインを策定し、今後の小学校統合計画を見



据えた適切な時期に、地域の実情に応じた形で進めていく。

**質問** 周辺部は利用者の数で現実問題厳しい部分があると思うが、行政の役目からすれば、課題の解消に向けて何らかの取組をするべきだと思うが。

**部長** 児童クラブの利用規模が少なくないところは、保護者負担が大きくなるということだが、基本的には、校区ごとの設置が望ましいので、今回策定する計画で、それらの対応を含めて考えていきたい。

**質問** 中心部では、利用者が多過ぎて受け入れられないという課題がある。咸宜では、定数オーバーになって抽選だという事象まで発生している。

**部長** 咸宜小学校は六十人定員だが、今年度は十人を超える状況だが、これについては、桂林のクラブと連携をとりながら、課題解消に向

け努力する。

**質問** 利用料がばらばらという状況も課題としてあるが、どのように認識しているか。

**部長** 利用料のばらつきについても、今後作成するガイドラインの中で検討していく。

### 火災警報器の普及について

松野 勝美

**質問** 火災警報器の設置が義務付けられ、大分県で平成二十三年五月三十一日までとなっているが、日田市の普及率はどうなっているのか伺う。

**部長** 日田市では、約四割程度の家庭が設置されているのではないかと広域消防組合では判断をしている。

**質問** 申請をすれば助成があると昨年の六月議会で答弁があったが今はないのか伺う。

**部長** 制度については、今年度から改正して、補助対象としていない。

**質問** 一人暮らしの高齢者の方、生活に困窮されている方に対して、助成を考えていかなければならな

いと思うがどうか。

**部長** 生活に困窮されている方というのが、非常に把握が難しいので、助成するのは困難だと思う。

**質問** 高齢の方とか、年金だけの暮らしの方とかは、日々の生活で手いっぱいじゃないのか、年配の方とか障がい者の方とかいうのは、やっぱり目配り、気配りをしていくべきだと思うがどうか。

**市長** いずれにしろ全世帯つける、これは義務化されているわけであるので、今の議員の思いを受け止めて、今後検討する。

**質問** 日田市の戸籍が残る百歳以上の数はどれだけあるのか伺う。

**部長** 戸籍上の不明者は、百七十一名となっている。

**質問** 行政側の削除の作業が滞っていたのではないのか伺う。

**部長** 法務局と協議しながら、今後進めていきたい。



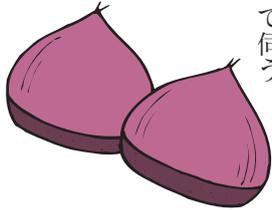
県道栃野西大山線の  
改良工事について

赤星 仁一郎

**質問** 県道栃野西大山線の中津江、大山境界付近の道路改良工事（交流ふれあいトンネル）の進捗状況及び完成見通しについて伺う。

**部長** 平成十七年度から十八年度にかけて測量、調査設計業務を行い、平成十九年度から、用地買収と一部工事に着手し、二十二年度は、トンネル掘削工事に関連した迂回路の工事を予定している。進捗率は、全体工事の二十一パーセントで、第一期工事の完成は、平成二十六年頃の予定である。

**質問** 教育環境整備について、市は小中学校の学校規模の適正化、教育環境の整備を図るため、適正化に取り組む必要のある地域において説明会を行っているが、地域の状況について伺う。



**教育次長** 大明地区では統合後の開校に向けた準備、平成二十五年度の小中一貫校の開校に向けた準備を行っている。上・中津江地区及び天瀬地区については、統合について市の考えを示し、協議を進めている。前津江・大山地区については、対策委員会等を結成いた

**質問** 水道料金の見直しについて、水道料金の改定における基本的な考え、また、今後の料金改定のスケジュールについて伺う。

**市長** 現在、市内の簡易水道事業等に係る料金は、三十八の体系に分かれており水道利用者の受益と負担、公平性の観点から水道料金の統一を図りたい。料金改定は、平成二十四年度から実施を考えており、料金の引上げについては、数年の経過措置を検討している。

成年後見制度について

城野 禮子

**質問** 成年後見制度に対する市の取組を伺う。

**部長** 高齢化による認知症の増加あるいは知的障がい者、精神障が



い者の将来の備え、財産や介護について、その方針が一致していない親族との調整を図るため、成年後見制度の必要性は高まってきている。このため、市としては、成年後見制度を利用するための手続に必要な書類、成年後見人となつてもらえる方の確保などについて、事前相談を行い、公証役場や司法書士会、弁護士事務所を紹介し家庭裁判所に行う申立ての支援を行っている。

**質問** 成年後見人育成の考えは。

**部長** 成年後見人の育成は、今後ますます重要となってくる。このため市では、認知症を広く理解してもらおうため、認知症対策総合支援事業として、普及啓発、予防教室、徘徊者早期発見保護、介護者支援の四つを柱とするプロジェクト

パトリア日田の危険箇所の  
改修を

矢野 美智子

**質問** パトリア日田の大ホール内の階段が急勾配で危険な箇所がある。ここで、ひぎの皿を割り入院するという事故が発生しているが、以前から事故が多いと聞いている。改善策をどう考えているか。

**部長** 事故に遭った方には誠意を持って対応する。施設は設計上の意図により勾配等が生じている。



パトリア回廊

十六段目までが十一、十七段目から十九の階段になっており、こゝでつまずいたのではないかと思われる。階段の改修は難しい。

**質問** 高齢者の方で、怖くてパトリア日田には行かないという方も出てきている。今回けがをした方は、損害賠償の対象に当然なると思うがどうか。

**部長** 本人に会って、事故かどうかを確認してからでないかと分からない。市主催の行事であれば職員を配置するが、貸館事業の場合はモニターで確認を行っている。

**質問** モニター確認では事前に事故を防ぐことはできない。考え直すことを要望する。次に、市民課に匿名で電話がかかってきたものを、本来なら本人に真っ先に会って確認すべきところを、警察や近所に聞き込みをするやり方は間違っている。改善すべきである。

**市長** でたらめな匿名の電話で本人に会うのは失礼であり、事前調査は必要であった。

**質問** ほかに同和問題で、差別落書きで市が市民集会まで開いたのは初めて。大騒ぎは問題解決にならないとの指摘。障がい者専用駐車場の確保、高齢者への熱中症対策等について質問した。

**急激な国民健康保険税値上げと認可外保育所認定ことも**

川崎 邦 輔

**質問** 急激な国民健康保険税の値上げに対する市民の反応は。

**部長** 値上げの理由、決定の方法、高額で払えない場合の手続き、国保からの脱退希望など、担当課に約六百五十件の問い合わせがあった。

**質問** 国保値上げの原因は何か。

**部長** 前期高齢者交付金に対する



事前申請の見込額が過大であり、国への精算戻し金に不足を生じた。

**質問** 他自治体では、行政のミスを認め、急激な負担を強くないよう一般財源から補てんしているが。

**市長** 本年度の税率改正はできない。原因は制度の問題と思う。

**質問** 幼保一元化の流れの中で子育て新システムの法案提出の動きがあるが、市の子供の将来は。

**部長** 新制度の具体化を見ながら、保育教育機能の環境整備を図る。

**質問** 認可外保育施設認定ことも園の運営費補助は、今年限りか。

**部長** 最終年度だが、新システム移行までは、延長の可能性がある。

**質問** 市長は、民間保育園連盟との懇談会を拒否しているが。

**市長** 公開質問状の件で謝罪がないので断った。担当職員と議論し、その報告を受ければ良いと思う。

**下請に地元企業の活用を**

大谷 敏 彰

**質問** 筑後軌道を、筑後川流域の近隣市と連携して近代化産業遺産群として登録し活用できないか。

**部長** 民間の研究が先行しており、その成果を受けて検討したい。

**質問** 市道拡幅等で発生する土地の移転登記事務の不履行や未登記土地への不当課税等の改善策は。

**部長** 市道には、個人名義の土地がまだ多く存在するため、年次計画で調査し、抜本的解決を図る。

**質問** 市民から「公共工事で下請に地元でない業者が入っている」などの指摘がある。地元企業の下請での活用状況を調査し、どのように対応しているのか伺う。

**部長** 契約のとき仕様書に特記事項として記載し、下請は市内に事業所のある企業の選定に努めるよう要請している。平成二十一年度の実態調査では、特殊工事を除いては大半が地元企業である。

**質問** さらに、地元企業の活用を広げるために、下請に地元企業を活用した場合と他市・他県の企業



を活用した場合とでは、工事評価点数に差が出るようなシステムを作るべきではないか。

**部長** 研究してみたい。

**質問** 学校現場は教員が不足している。加配の教員を市教委は県に百七人申請しているが四十六人しか配置はない。県への働き掛けなどどう取り組んでいるのか伺う。

**教育長** 各学校の申請に基づき、必要性、緊急性を踏まえて県に要望している。しかし、予算もあり十分な配置ができないでいる。学校では、指導方法の工夫改善を見直したり、市雇用の特別支援サポート事業の補助職員を配置して教育活動の充実を目指している。

**質問** 特別支援サポート事業の補助職員は、二十二の学校から二十八名の要望があったのに二十名しか配置していない。財源も十分確

保されている。学校を訪問してみたら増員が必要ではないか。

**市長** 十月から新たに四名を雇用し必要な学校に配置する。

**質問** 他に、有害鳥獣対策を質問。

### 情報基盤整備に伴う諸問題について

菅田 敏幸

**質問** 市内には公設と民間の二つの情報基盤エリアがある。同じ日田市民でありながら諸問題が起きている。経費削減の意味も含めて将来的に統一はできないか。

**市長** 公設であれば国の補助金が受けられる。市民が均一公平というのが望ましい。今後、何らかの統一が将来可能であれば、やっても構わない。現時点での公設民営化運営の一本化は考えていない。

**質問** 日田市情報センターの愛称は考えていないのか。

**部長** 誰もが分かりやすく親しみやすい愛称を来年四月までには考えたい。

**質問** 日田市のホームページをどのように評価しているのか。

**部長** アクセス数が一日平均千七百件になっている。文字が小さく

見にくい、情報を探しにくいなどの課題があると認識している。今後、レイアウト等変更を図り、携帯電話から、メールマガジンなどの機能を含めた全体的な見直しに取り組みたい。

**質問** 小中学校のホームページが更新されていないが、どのような理由があるのか。

**教育次長** 全く更新できていない学校や一部しか更新できていない学校もある。今後、ホームページが更新できる研修体制づくりに取り組みたい。

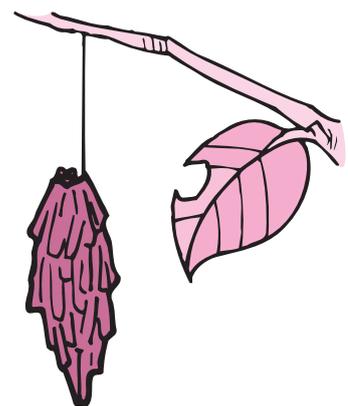
**質問** 他に、住民からの負担金徴収、情報基盤整備のうち自主放送、KCVとの連携、アナログ放送停止の対応、教育委員会のホームページ、日田市立小中学校環境整備検討委員会答申などを質問した。

### 過疎地域自立促進計画とキヤノン

森山 保人

**質問** 日田キヤノンマテリアルとその関連企業へのこれまでの総採用人数と、来春の採用見通し、今後の大分への異動予定を伺う。

**部長** 途中採用者九十名、新卒者



九十三名の計百八十三名で、そのうち四名が退職した。来春の採用計画は今年(十四名)と同程度を予定。茨城のキヤノン化成に出走中の百五十一名は、大分キヤノンマテリアルへ九月一日までに五十三名が異動し、十一月に約二十五名、来年の二月ごろに約三十名、五月には残りが異動してすべて異動完了する予定となっている。

**質問** 六年間延長された過疎地域自立促進計画で、日田市が取り組む主な事業は何か。

**市長** 日田式循環型有機農業の推進、日田材の需要拡大などもうかる農林業の実現、高齢者・児童生徒などの移動・通学手段の確保、地域活性化活動の支援、学校跡地の整備などに取り組む。

**質問** 学校跡地の整備の問題では小山小学校跡地と校舎の活用につ



目田キヤノンマテリアル用地

いて現状の取組は。  
**部長** 今自治会と話し合い中である。  
**質問** 校舎は解体の予算を計上のうち市長の判断で取り止めたが。  
**市長** いろんな人の意見を聞き、小山地域の誇り、自慢の建物を残す判断をした。有効に使えるように地域の人と議論して活性化につながる策に取り組む。  
**質問** この他に、促進計画の中で、日田市立博物館建設事業、田来原公園整備事業、認定こども園NPOやボランティアの活用などについて質問した。

### 高い国保税の原因は 上乗せ方式

日隈知重

**質問** 国保加入者の所得が減って、国保税を上げなかったら不足する分(約一億一千万円)が、国保税の値上げに上乗せされている。高すぎて払えない方の国保税、高額所得者にもっと負担してもらおうべき国保税など、値上げに上乗せされている金額はいくらか。

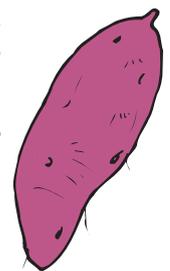
**部長** 国保税未納見込み分として約一億六千万円、国保税の限度額七十三万円を超えた分として約一億三千万円となっている。

**質問** 一人当たり約二万円が、本来の国保税に上乗せされている。まるで連帯責任のように計算する不当なやり方ではないか。

**市長** 国保は、国が法律を作って運営されている。その良しあしを議論しても仕方ない。

**質問** 七割の市町村が、払いたくても高くて払えない国保税を何とかしてほしいという住民の願いにこたえて、一般財源から国保に繰り入れている。

**市長** 財政的には弱い市だから、



慎重にやっついていかないといけない。  
**質問** 国保の財政安定化支援事業(国が八割負担)は、市が二割分を入れているか。

**部長** 市町村の判断にゆだねられている。

**質問** 本川牧場が塚田牧野に持ち込んだ堆肥の量の推定は、十アール当たり何トンだったのか。

**部長** 施設建設予定地で七・八トン、白ネギ畑で十七・三トンと二十八・七トンとなっている。

**質問** この他、基準となる比較地に堆肥が入っていたことなど、調査の問題点を質問した。

### 観光・福祉・若者定住促進 女性対策等について

財津 さやか

**質問** 昭和四十七年に建設されたJR日田駅。今後も日田市発展のための活用が期待されるが、観光的利用のほかに市民交流の場の活用、また、駅前の商店街活性化を含んだ計画はできないか。



JR目田駅

**市長** JR九州では改修は考えていない。市では、日田駅のホームで一部改修の要望はしている。

**質問** 来年廃止が予定されている大交北部バス日田・伏木線だが、今後の市の対応はどうか。

**部長** 定期バスが廃止後は、市がこれに代わる伏木地区の住民の交通手段を確保する必要があるため公共交通会議に諮り、平成二十三年七月には代替交通が運行できるように努める。

**質問** 地場産業の振興を図り若者の定住を促進するためには後継者

の確保を図ることが重要。これまでは農業や事業所等の後継者は、大部分家族の跡取りが主であったが今日では社会的な問題や個人の価値観、所得等の問題でその確保は困難。こうしたことから市が後継者確保に取り組むための専門窓口設置の考えはないか。また、地場産業のネット販売システムの補助金の交付はないか。

**部長** 商工業の後継者育成は第一義的にはそれぞれの事業者が売上げを伸ばし経営の安定化を図ることが大事。地場産業の販売促進に取り組んでいる。専門窓口として一本化は厳しい現状。ネット販売補助については関係者と検討する。  
**質問** その他、女性専用サロン設置と花月川の水質について質問した。

**地域主権と振興局の在り方**

高瀬 敏明

**質問** 地域主権が実現すれば市長のリーダーシップ、議会のチェック機能、それぞれの役割がますます重要となってくるがどのように考えるか。



**市長** 権限も財源も移譲されることは好ましい。受皿づくりをしつかり行い、住民サービスの低下を招かないよう対応しなければならぬ。

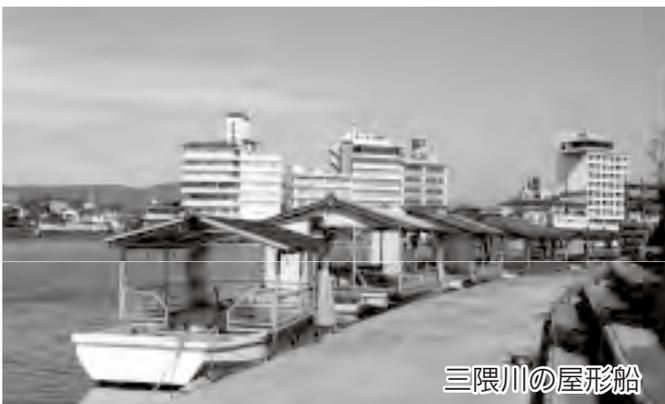
議会との関係は、今まで以上に市政発展のため、市民の立場に立った活発な政策論議が求められると考えている。

**質問** 振興局の在り方についてどのように考えているか。

**市長** 地域主権を目指す動きを踏まえ、日田市が担うことになる仕事を、本庁、振興局、振興センターを含め、どのような組織として担い、市民サービスの充実に努めていくかを考えていかねばならぬ。市民ニーズを明確に把握し、地域内分権も見据えながらどうしていけば良いのか考えていく。  
**質問** まちづくり会社とは、どの

ような会社を設立するのか。  
**部長** 屋形船を有効に活用し、観光客の増加、雇用の創出、収益を確保し、関係事業にも波及することにつなげていく。

**市長** 他の地域と差別ができ、自慢できるのは屋形船である。第三セクターとして旅館の経営とは切り離して、もっとたくさんの人に利用してもらおう。経済効果、日田の元気の切り札の一つとして、是非実現したいと考えている。どういう形で運営していくか、関係者によく話をして立ち上げる。



三隈川の屋形船

**ホームページのご案内**

<http://www.city.hita.oita.jp>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。9月定例会の会議録は、12月上旬から閲覧することができます。

**議会をご覧になりませんか**

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。

車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆様のお越しをお待ちしています。

## 報 告

# 各委員会の 議案等の審査結果

### ● 総務委員会 ●

#### 竜門ダム津江導水路、 漏水問題の早期解決を

日田市一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ十億六千四百二十四万七千円を追加し、総額三百七十五億八千九百八十三万四千円とするもので、当委員会に審査の付託を受けた部分は、次の意見・要望を付し原案のとおり可決した。

歳入は、各種補助事業等の決定及び災害復旧事業に伴う県支出金、市債の増額、臨時財政対策債の確定で、不足する財源を繰越金で措置するものである。

歳出は、人事異動に伴う人件費の補正等が主な要因だが、意見が出たのは地域振興基金管理費の増

額で、竜門ダム津江分水に係る地域振興策として県が無償貸与していた高校寄宿舎用地の対価相当額を、上・中津江地域の振興財源として活用するための積立である。

これは、高校寄宿舎は昨年廃止したものの、津江分水では導水路で漏水が発生し、開門せずに分水されており、分水問題が解決していないため、県が引き続き寄宿舎跡地を市に無償貸与することとなり、市はその用地を公園にし、用地相当額を振興策に充てるものがある。

委員会では、「漏水とは別問題として考えるべき」「合併後の特定地区のための基金積立ては公平性を欠く」等の意見が出たが、やむを得ずとした。また、漏水問題について、地下水の帰属問題を



高校寄宿舎跡地(丸の内)

を含め、早期解決に努めるよう付言した。

このほか、日田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正外四議案を原案のとおり可決した。

### 本会議のテレビ中継

一般質問は、市内の有線テレビ(KCVコミュニケーションズ、市情報センター)で生中継し、後日、録画放映も行っていますので是非ご視聴ください。

### ● 教育福祉委員会 ●

#### 国民健康保険条例改正等 四議案を可決

日田市国民健康保険条例の一部改正案は、国民健康保険法の一部が改正されたので、これに準じて所要の措置を講ずるもので、原案のとおり可決した。

平成二十二年度一般会計補正予算は、次の意見、要望を付し原案のとおり可決した。

幼稚園型認定こども園は、十一月の開園に向けて整備が進んでい

るが、今後の日田市全体の幼児教育については、国の新システムを含め、待機児童の十分な現状把握を行い、財政面での考慮等十分な検討がなされるよう付言した。

厳しい社会情勢の中で、今後も生活保護世帯が増加傾向にあることから、ケースワーカーの人員確保を要望した。

桂林公民館建設の工事発注の際には、市内業者幅広く受注機会が与えられる配慮を行うよう付言した。

平成二十二年度日田市国民健康保険特別会計補正予算は、平成二十年老人保健医療費拠出金の確定に伴う増額及び人事異動に伴う人件費の補正が主なもので原案のとおり可決した。

平成二十二年度日田市後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合職員の住宅借上料の増額が主なもので原案のとおり可決



した。

平成二十二年度日田市介護保険特別会計補正予算は、原案のとおり可決した。

就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育所の振興に関する請願は、継続審査とした。

**経済環境委員会**  
**まちづくりは関係者間の協議連携を密に推進を**

平成二十二年度一般会計補正予算は、次の意見を付し、多数をもって原案のとおり可決した。

まちづくり会社設立準備事業では、まちづくり会社の設立に向けて、運営が厳しい状況となっている屋形船の有効活用を図るため、現状分析や課題等をコンサルタントに委託するものである。審査の中で、「観光協会との連携はできているのか」「関係者との話し合いは十分なされたのか」「まちづくり会社は、全国で失敗例が多いがどうなのか」等の意見が出された。

委員会としては、本事業の問題点を再確認するとともに、計画に意見が反映されるよう関係者間の協議を十分に行うなど連携を密にし、

事業の推進を図ることを付言した。

椿ヶ鼻ハイランドパーク整備計画策定事業は、来場者の減少で厳しい運営状況となっている椿ヶ鼻ハイランドパークについて、前津江町産業活性化協会に事業を委託し、専門員を雇用することにより、施設の改善を図るものである。

「多額の経費を使い施設を改修して、来場者が増えるのか」「先行き不透明な部分が多すぎる」「専門員は必要なのか」「将来展望が見えにくい施設である」等の意見が出された。委員会としては、周辺に類似施設もあることから、施設の縮小や近隣施設との連携等も考慮し、整備計画を策定するよう付言した。

次に、クンチョウ酒蔵活用計画策定事業は、岩澤重夫画伯記念美術館の整備を進めるための基本構想・計画を策定するものである。審査の中では、「活用検討委員会に市民の代表が選出されても意見が言えるのか」「施設改修には多額の経費を伴うのではないか」

「個人の所有物に対し、多額の市費を投入することに問題がある」など厳しい意見が出された。委員会としては、活用検討委員会等で

十分に議論していただき、維持管理費等を明確にし、将来的に安定した施設運営を見据えた基本方針の策定を行うよう強く付言した。

全体として、今回の審査では各議案に対する説明不足等が見受けられ、厳しく指摘を行ったところである。

**建設委員会**  
**地域経済活性化に資する補正予算などを可決**

工事請負契約の締結は、城内団地建替事業のうち、第一期建築主体工事の請負契約を締結するもので、契約の方法、金額、相手方、工事の概要等適正な契約と認め、原案のとおり可決した。なお、工事に当たっては施工管理及び周辺住民並びに工事関係者の安全管理に万全を期すよう要望した。

平成二十二年度日田市一般会計補正予算は、地域に密着した生活道路の改良や、老朽化した舗装及び側溝などの整備が主なものであり、景気対策のため来年度以降の施工箇所についても前倒しで事業実施するもので、次の要望を付し、原案のとおり可決した。



道路新設改良費のうち地域生活道整備事業は、市道三十三路線が対象であり、工事費及び測量設計等の業務委託費などを増額するもので、対象路線の中には、上城内若宮線、中央通り線など交通量の多い路線も含まれているため、工事期間中の安全管理、特に住民への交通規制の周知徹底には十分配慮するよう要望した。

災害防除事業は、天瀬町赤岩地区の地滑り対策として、今後の災害を未然に防ぐため市道赤岩線からの排水処理施設の整備を行うため、市民生活の安全安心のため

早期着工を要望した。

公園建設費の広場・緑地等整備事業は、田島町、丸の内町の高校寄宿舎跡地及び市営秋山住宅跡地を広場・公園として整備するもので、施設整備には、地元住民からの要望を尊重し、利用者の利便性が図られるよう要望した。

### 請願の結果

九月議会では、請願三件が審議され、次の結果となりました。

#### 採択されました

● 子供たちの命を守るため「ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸部がんワクチン、水痘ワクチン、おたふくワクチン」の定期接種並びに無料化を求める意見書提出に関する請願

● 「保険でより良い歯科医療の実現を求める」意見書提出に関する請願

#### 継続審査となりました

● 就学前のすべての子どもの教育と幼稚園・保育所の振興に関する請願

### 意見書

九月議会では、次の意見書を探択し、国の関係機関に送付しました。

● 子供たちの命を守るため「ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸部がんワクチン、水痘ワクチン、おたふくワクチン」の定期接種並びに無料化を求める意見書

細菌性髄膜炎や子宮頸がん、水痘、おたふくの発症を防ぐ各種ワクチンについては、安全性と有効性は確認されているものの、定期予防接種にならず、有料であるため、各種ワクチンの定期接種化及び無料化を求めるもの。

● 保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

平成十八年度の診療報酬のマイナス改定により、事実上、歯周病の治療、定期管理が保険では行えなくなり、従来以上に保険でより良くかめる義歯の提供も困難となっていることから、保険でより良い歯科医療が行えるよう制度の改善を求めるもの。

● 非核三原則の早期法制化を求める意見書

我が国の非核三原則を国是とする政策は、幾度となく核兵器使用の危機を防いできており、今こそ日本は、核兵器による唯一の被爆国として、核兵器廃絶に向けた主導的役割を果たすべきときであることから、被爆国日本として、世界諸国、諸国民から掛けられる期待の大きさを踏まえて、非核三原則の法制化の決断を早期にされることを求めるもの。

● 保育所、児童入所施設的环境改善を求める意見書

子供の福祉の向上に必要な保育所・児童入所施設の在り方については、財政状況の厳しい地方自治体に配慮するとともに、地域の保育機能の崩壊を招くことのないよう検討されなければならないことから、保育制度の議論に当たっては、子供の立場に立ち、保育所、児童入所施設の設定及び運営に対し、必要な財源を確保するとともに、最低基準については、改善に向けて十分配慮することを求めるもの。

日田市副市長を選任



穴井博文 副市長

日田市副市長に穴井博文氏を選任することに同意しました。氏は昭和四十八年、大分県庁に入り、日田地方振興局（西部振興局）局長、大分県議会事務局局長などを歴任。任期は平成二十二年九月二十二日から四年間です。

教育委員会委員

次の方を日田市教育委員会委員に任命することに同意しました。

永山 真江 氏（淡窓一丁目）

情報公開・個人情報保護審査会委員

次の方々を日田市情報公開・個人情報保護審査会委員に委嘱することに同意しました。

熊谷 正義 氏（朝日ヶ丘）

大内 啓康 氏（中津江村）

渡辺ひろ子 氏（天瀬町）

一木 俊廣 氏（淡窓一丁目）

佐々木美徳 氏（元町）

人権擁護委員

次の方を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

高倉 善次 氏（天瀬町）

十二月定例会議事日程

九月定例会の議会運営委員会、次回（十二月）定例会の議事日程案を協議し、次のとおりとなりました。

なお、正式な日程は十一月二十五日（木）開催予定の議会運営委員会で決定します。

十一月三十日（火）…開会  
十二月七日（火）…開会

〓 九日（木）

…一般質問

十二月十日（金）

…議案質疑

十二月十三日（月）

…各委員会

〓 十五日（水）

…閉会

十二月十七日（金）

…閉会

虚礼廃止にご理解ご協力を!

公職選挙法（寄付行為）に関するQ&A

**Q** 議員が、従来から慣行として行われているお歳暮、お年賀などを選挙区内の市民に対して贈ることができますか。

**A** 親族に対して贈る場合を除き、寄付にあたりますので、禁止されています。

**Q** 議員が、選挙区内の市民に対して、年賀状を出すことができますか。

**A** 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。例えば、パソコンや裏面印刷による年賀状は、自筆によるものと認められませんので禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や運動会などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すことや親族以外へ贈るお中元・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄付にあたりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。



編集後記

長雨が明けたら、熱中症の暑い暑い夏が始まり、九月議会が終わる頃には彼岸を迎え、急激な朝夕の冷え込み。今年の冬は、一体どうなるのでしょうか。

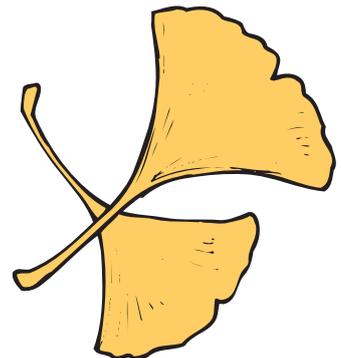
中国の黒龍江省では、一日で約三〇度の気温差。真夏から一気に真冬。天変地異を覚える激しさも。

世界経済も恐慌からの回復が見えず、新卒者の就職もままならず。

政治の世界もふらふらで、普天間・尖閣列島と外交音痴を露呈。

国民の間に閉塞感の漂う今、聡明で賢明なウエットに富んだリーダーの登場を期待するのは、私だけなのでしょうか。

（川崎邦輔）



◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局（0211-211-214）へ。市議会だよりは、古紙再生紙を使用しています。また、環境にやさしい「大豆油インク」を使用しています。